

高松学習館運営協議会（令和5年1月）会議録概要

開催日時 令和5年1月25日（水曜日）午前9時30分～午前11時10分

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学名誉教授）

吉田理恵（立川市社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

服部裕美（高松児童館）

橋本登（立川市市民交流大学推進委員会）

栗原政子（学習館利用団体）

難波敦子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

欠席 2名

[事務局] 植澤尚武（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ 皆さん、おはようございます。雪が心配だったが、今日は開催できてよかったです。本年もよろしくお願いします。

2. 報告事項

・事務局より下記について報告があった。

・「冬のおもいでたかまつり」(1/8 実施)について

参加者アンケート集計結果は好評だった。参加の小学生は14名だった。

当日は読売新聞の取材が入った。翌日の朝刊に掲載された記事のコピーと東京学芸大学の学生のふりかえり資料を配布した。

当日スタッフとして参加した委員より感想があった。

・お手玉担当だったが、糸と針を初めて持つ子がいたが、パッチワーク友の会の方が丁寧に指導してくれて全員がお手玉をつくることができた。針で指をつくハプニングがあったが、学生さん達が優しく接してくれて全体的にとても良かった。

・夏に比べて冬のたかまつりは申込制で事前に参加人数と学年が把握できて事前準備が十分できて良かった。保護者の方も参加できて良かった。

だるま落としは学生さんの力作で本当に丁寧にきれいに製作されていた。

・全体を見ていて、学生さんのふりかえりにもあったが、最初の説明の際に保護者が立ちっぱなしで配慮が足りなかった。講座運営に余裕があった分、どこまでが学生さんの担当でどこまでが地運協スタッフの担当であるか、線引きがはっきりしていなかった。

書初めで保護者から学校の宿題の習字を教えてほしいと要望があった。

西砂学習館イベントのように学校の宿題をメインにして、息抜きにお正月あそびを楽しむのも良いと思う。

・ 温度差があるのも面白いと思う。準備が大切で万端であればどのような状況も受け入れることが可能。子どもは参加者だが、保護者は付添なので座席の心配をしなくてもいいのではないかと思う。

・ 新春たかまつ落語会(1/14 実施)について

来場者は 44 名だった。アンケート集計結果は概ね好評だった。当日は立川落語会より 3 名、地元の中学生と小学生（兄妹）が出演した。

当日は FM たちかわの取材が入り、昨日インタビューの様子が放送された。当日スタッフとして参加した委員より感想があった。

・ 楽しかった。毎年同じような内容でマンネリ化している感もあるが、キノコくんの成長が見ることが楽しみ。にゃんこちゃんは達者だった。お正月気分が味わえた。

・ にゃんこちゃんの演目(初天神)の擬音の完成度が高かった。毎年変化があって良い。出囃子など、地運協スタッフでサポートできるところは取り組んでいけたらと思う。

・ 生涯学習関係職員研修会(1/17 実施)について

講師は東京学芸大学の倉持先生。立川市の第六次生涯学習推進計画について講義いただいた。研修資料を配布した。

当日参加した委員より感想があった。

・ 内容については生涯学習推進審議会でよくお話をされていることでとても分かりやすかった。

・ 資料を見ると、生涯学習推進審議会が何をやっているのか、参加者におわかりいただけたと思う。第六次生涯学習推進計画の中身について職員の方も勉強していただけたらと思う。

・ 倉持先生が立川市のために一生懸命やってくれていることに敬意を表して参加した。全国で学識経験のある人がほとんどだが、上から目線で決めつけたり杓子定規で見る人もいる。社会教育の原則は行政主導で実施するものではない。専門職をきちんと登用してほしい。社会教育委員を充て職や名誉職と勘違いしている人もいる。我々も原点に戻らないといけない。ゼミを持っていることは強みで学生達と実践を広げていくことができる。立川の良さが出てくる。実際に現場を見てよく理解した上でどのように活動したらいいかとなる。

倉持先生は他市の社会教育委員もされているので情報共有ができる、各市の良い点、欠点もわかってくる。お互い補填できる。専門職をきちんと雇用して底辺を広げていただきたい。職員の研修をきちんと実施した方がいい。各学習館の人事(組織)を変えていく必要がある。職員間にも温度差がある。職員研修と横の研修をしっかりやってほしい。担当者が変わることで社会教育が変わるのはおかしいことになる。もっと勉強会を拡大していくことが大切だと思う。立川の社会教育を真剣に考えてほしい。学習館の職員を増やして機能するように取り組んでいただきたい。

・ 第 41 回高松学習館文化祭日程について

申込書配布や準備会日程を若干早めている。

- ・高松寿教室新年のつどい(1/11 実施)について

昨年度に続いて、立川競輪場集合棟の大広間に 50 数名の会員が集まり、時間短縮で開催した。落語を楽しんだ後にお弁当とお菓子は持帰りをした。以前は見学会で電車やバスを利用していろんな場所に行っていたが、高齢のため皆で外に出かけるのが難しくなってきている。

- ・団体企画型講座「奇術初心者講習会」について

令和 5 年度開催日程 : 6/17(土)~7/15(土)午後 2 時~4 時 (全 5 回)

例年は平日の夜に実施だが、来年度は土曜の午後に実施する。

- ・今年度中止になった演奏会の出演団体の動画チャンネルが 27 日にアップロードされることになった。編集については梅田会長が対応してくれた。

- ・立川市生涯学習推進審議会では 1 月は歴史民俗資料館の視察に行ってきました。成り立ちや課題について話を聞いた。不便な場所にあるが、もっと活用していただきたい。貴重な所蔵品が公開されている。例えば、市所有のバスがあれば子ども、大人も学習ツアーができる。巡見ツアーをして市民の意識も行政の意識にも変化が出てくる。立川市民科がもっと見えてくるように市民のシンボルになるように取り組んでほしい。

3. 協議事項

- (1) 前回議事録（案）について 承認された。

- (2) 高松学習館の取り組みについて

- ・令和 4 年度地域活性化事業について

フレイル予防体操とたかまつ映画会はすでに定員に達している。

アンガーマネジメント講座は本日より受付開始している。

- ・令和 5 年度地域活性化事業について

- ・第 41 回高松学習館文化祭日程について

作品展最終日に実施する地運協ワークショップについて協議した。

昨年度に続き、千代紙人形しおりづくり、感染症状況により、お茶とお菓子でもてなしながら交流し、来場者から意見を収集するという内容で進めていくことになった。

- ・防災講座について

市の防災課とヒアリングをして、在宅避難を課題とした企画を検討中。

避難所に行く場合もあるが、在宅避難は日頃の備えが重要となるという話だった。地域の方々に備えについて周知できるような内容で、社会福祉協議会と連携しながら今後具体的な内容や対象などを検討していくことになった。地域でも防災訓練も変わってきてている。自助、共助に向けている。避難所での受け入れ体制の充実と個々に備えていくという両輪で行っていく方向。

- ・その他の企画案について

地域について歩いて学ぶツアー、郷土史、立川学、企業見学、歴史民俗資料館の見学など案が出た。皆で出かける機会があると楽しく学べる。

児童館や社会福祉協議会と連携していくこともいい。

次回の会議にアイデアを持ち寄ることになった。

(3) その他

- ・ 次回の開催日：2月22日（水）午前9時30分～11時
 - ・ 今後の開催予定（第4水曜午前）：3/22・4/26・5/24・6/28・7/26・8/23・9/27・10/25・11/22・12/20 令和6年1/24・2/28・3/27
- *祝日と年末は第3水曜日

4. 地域課題共有

- ・ 社会福祉協議会より情報紙「まちねっと」配布
- ・ 高松児童館より 1/8 午後にお正月あそびを実施した。例年より多く 30 名前後の参加者があった。こま回し、けん玉など楽しんだ。曙青少健主催の第二小学校での新春フェスは 10 名前後の参加だった。2/23 に子ども未来センターで 9 児童館合同の児童館フェスティバルを開催する。

以上